



2015年3月の北陸新幹線開通を控えた金沢。そこに快適なパーマネントコースがある。

「卯辰山」コース 石川県 No.10
JOA 公認 No.793 4km 10ポスト



スタート地点の公園センター

市民に人気の卯辰山

以前紹介した「あがたの森」コースを回った同じに、この日3コース目に挑戦したのが金沢の中心地から最も近

くに設置されている「卯辰山」コースです。ちなみに「卯辰」の名は金沢城から見て卯辰の方角（東）にあることからつけられています。

コースの設置されている奥卯辰山健民公園へのアクセスですが、公式のホームページにも配布されているパンフレットにも公共交通機関の記載がありません。マイカーでの利用が前提のようで、私もレンタカーを使って訪れています。石川県オリエンテーリング協会のコース一覧には、JR金沢駅東口より北鉄バス卯辰山千寿閣行き終点下車徒歩20分と案内されています。

管理の行き届いたコース

天気の良い休日とあって、お昼過ぎに到着すると駐車場はほぼ満杯の状態。何とか1台分のスペースを確保してマップの取扱所である三角屋根の公園センターを訪ねます。窓口でマップを求めるとすぐに取り出してくれるのも、

さすが管理抜群の石川県。2001年調査の大会用の地図にコピーのチェックカードがホチキス止めされたものを渡されます。1995年に訪れた際は1984年調査のPC用のオリジナルマップで、「目的地に行くための1・2・3」なども記された4つ折のお馴染みの装丁でした。案内板はセンター裏にあり、汚れひとつありません。掲示されているマスターマップも年度初めに更新されたばかりで鮮明です。

コースが主に設置されている奥卯辰山健民公園は1971年の開設。ゴルフ場の跡地を利用して整備されています。コース自体も芝生の上を歩く区間があり、このコースの開放的な印象を決定付けています。



ピカピカの案内板

オリエンテーリングコースが設置されたのは1985年のことと思われます。しかし、この頃はJOLCにおけるパーマネントコース登録業務が停滞していた時期のようで、石川県の多くのコースが正規の公認を受けないまま運用される状況が四半世紀以上続いていました。未登録のままのコースを一覧化し、このことをJOA事務局長の高村さんに相談すると、各県協会に登録の意向があれば公認ナンバーを与える運びとなり、この卯辰山コースにも793番目の公認コースに正式に登録されることになりました。



ゴルフ場跡地の開放的な公園

実際のコースに

以前のコースは健民公園とそれ以外のエリアがほぼ半々の設定でしたが、現在のコースは公園内に7割ほどが集約され、より安全性が増しています。明るいう午後の日差しが降り注ぐ13時55分にスタートします。

1:5,000の大縮尺マップですので、実地とのスケール感に馴染むまでは行き過ぎに注意します。最初のポストはスタートからわずか150m地点です。南に広がる広場を見ながら正面の小さな丘を目指します。松林を背景に下草茂る

一角でさっそくピカピカのポストを発見します。95年当時は標準タイプの三角頭のポストが使用されていましたが、平板タイプに変更されています。

第2ポストはコース最東端。かつてはこの間に1箇所ポストがありました。今はカットされています。3番広場と名づけられた緑地と林の境でポストを確認し、第3ポストへはそのまま引き返します。基本的にこのあたりは地図上で記された道を進むのも、ポスト間を直線で結び、芝生の上を進むのも自由です。

公園の目玉施設であるパークゴルフ場のエリアにさしかかります。2つあるコースは卯辰山にちなんで、東側にあるコースを「うさぎコース」、西側にあるコースを「たつコース」といい、それぞれ18ホールが設けられています。平成21年には国際パークゴルフ協会の公認コースにも認定されているもので、「公認」としてはオリエンテーリングの先輩です。第3ポストは「うさぎBコース」の第8ホール前に設置されています。

第4ポストへはこのままゴルフ場内を進むこともできますが、この時は利用者の姿もあり道を進むことにします。うさぎコースの西端にあるトイレ付近で第4ポストを発見します。

第5ポストは道を回らず北への最短ルートを選びます。全体的に平易なコースですから、沢のアップダウンや簡単なコンパスワークを楽しめる貴重な区間が待っています。地図に記載のある柵も通行可能ですので、心配せずにルートチョイスを試みましょう。柵に沿った地点でポストを発見します。



第5ポスト

第6ポストは公園エリアの最西端です。グラウンドの北側を回りこみ、駐車場に到達します。公園センター付近の駐車場は満車に近い状態でしたが、ここは臨時用なのか人の気配もなく1台の車もありません。ポストは駐車場の奥からひょこっと首を覗かせていま

す。

道路を経由して曲がり角で第7ポストをあっさり確認し、金沢仏舎利塔に続く小道脇で第8ポストを発見します。この仏舎利塔、戦後インドのネル首相から日本各地に贈与された仏舎利(釈迦の遺骨)が納められたもので、贈与から20年後の昭和49年に完成しています。

前半の公園と比較してこのあたりは様相が異なり、続く第9ポストも奥卯辰山墓地公園に設置されています。仏舎利塔から北に向かい、三叉路を右に入ると歩道の入口にポストが置かれています。

ここから最終ポストまでは地図上では最短ルートの道の表記が途切れていますが、問題なく通行可能です。墓地と山に挟まれた小道を進むと駐車場に抜け出すことができ、大池の北端近くで無事すべてのポスト確認が完了します。池の東を回って案内板に帰り着いたのは、スタートしてから56分後の14時51分でした。

時間にゆとりがあればまだ2コースは回れそうな時間ですが、帰りの電車の時刻を考慮して、この日は3コースで終了です。

山の9月といえばまだまだ夏草の勢いが残る季節。そんな時期でも快適にオリエンテーリングができる石川県のパーマネントコースは、世代を問わず楽しめること請け合いです。

(2013年9月23日 踏破)
(大高竜亮)